

博物館・美術館の展覧会について

博物館

企画展「しらべてみよう！むかしのくらし」

平成元年12月14日（土）～令和2年3月15日（日）

内 容 毎年恒例の小学校3年生の単元にあわせた民具展。今回は便利なスマートフォン機能をむかしの道具に置き換えて紹介。また、さわれる道具やむかしの遊びを体験できるコーナーも設置。例年の台所や茶の間の再現、米作りの道具なども展示。

関連行事 ●は宮本三郎美術館との連携事業

○「こまつカルタで遊ぼう」

2月15日（土）10:30～、13:30～（各回30分程度）申込不要 大人のみ要入館料

●「ペットボトルけん玉を作ろう＋展示解説」

2月22日（土）9:30～12:00 要申込（定員15名 多数の場合は抽選） 無料

○「こまつの昔話」

希望者があれば随時 大人のみ要入館料

本陣記念美術館

特別企画展「ENJOY!日本画

ー本陣コレクション東山魁夷作品一斉公開ー

令和元年11月19日（火）～令和2年1月26日（日）

内 容 新たな日本画制作に取り組んだ近現代の作家の作品を、様々な特徴ごとにわかりやすく紹介。収蔵している東山魁夷作品6点を一斉公開すると共に、今回は講談社所蔵の東山魁夷の表紙絵原画8点もあわせて展示。

関連行事

○ギャラリートーク

1月25日（土）11:00～、14:00～ 要入館料 予約不要

宮本三郎美術館

☆第5回「宮本三郎記念デッサン大賞展 明日の表現を拓く」

小松展総入館者数 2, 4 9 1人 (前回 2, 2 5 8人 約10%増)

東京展 1月25日(土)～3月15日(日) 於：宮本三郎記念美術館

企画展「時代^{とき}を映す絵画」1月4日(土)～3月8日(日)

内 容 激動の時代を生きた宮本三郎は、その時代にあわせて自分の中の気質を発見し、様々に画風を変えていった。作品だけでなく写真や民具など様々な資料や、歴史的な出来事をたどりながら、その画業の変遷をたどる。

関連行事 ●は博物館と連携事業

○学芸員によるギャラリートーク 宮本三郎美術館

1月18日(土)、2月15日(土)、3月8日(日) 11:00～ 要入館料

●「ペットボトルけん玉を作ろう+展示解説」

宮本三郎ふるさと館

企画展「美の果実 ～収集された宮本三郎～」1月4日(土)～3月8日(日)

内 容 小松市内外のコレクターの方々が収集された宮本作品を紹介する企画展。花や人物、風景、油彩や水彩、陶芸など普段は目にすることができない18点の秘蔵の作品を公開。

関連行事

○「親子凧作り教室」12月1日(土) 10:00～15:00 要予約 親子15組

参加費 1,000円(凧1組の材料費・昼食代)

○「美術館でシャンソン」3月1日(日) 14:00～15:00 予約不要 無料

男性シャンソン歌手によるコンサート

その他の行事

博物館

○「ふゆの野鳥観察会」2月9日(日) 9:00～12:00 要予約 定員20名

参加費：大人のみ 350円 バスで移動、動物病院の先生のスペシャルトーク付



小松市内在住の
65歳以上の方無料！
年齢と住所のわかるもの
をご提示ください



しらべてみよう！ むかしのくらし

2019.12.14(土)～2020.3.15(日)



開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

入館料 一般300円
高校生以下無料
団体20名以上250円
※小松ミュージアムバス利用可
※障がい者手帳をお持ちの方
およびその介助人1名は無料

場 所 小松市立博物館2階
休 館 日 月曜日(祝日の場合はその翌日)、
祝日の翌日

小松市立博物館

〒923-0903
石川県小松市丸の内公園町19
Tel 0761-22-0714
<http://www.kcm.gr.jp>

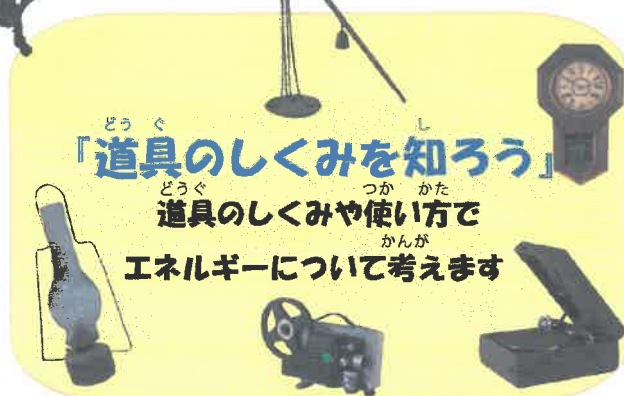


「スマホ」で
なんでも
できることって
何だろう？



「スマホでできること って何だろう？」

でんわ 電話やカメラなどスマホの機能を
むかしの道具でおきかえてみます



「道具のしくみを知ろう」

道具のしくみや使い方
エネルギーについて考えます



「くらしをくらべる」

「台所・居間・米作り」の様子を再現！
今のくらしとくらべてみよう

しらべてみよう！ むかしのくらし

2019.12.14 (土) ~ 2020.3.15 (日)

日本では約65%の人がスマホを使っています。スマホには電話やメール・ライン、買い物、音楽をきくなど、いろいろな機能があります。でも、災害でスマホが使えず、生活に困ったというニュースも耳にしました。

そこで今回は、スマホでできることをさまざまな道具でおきかえ、むかしのくらしを調べてみます。道具の移り変わりや、仕組みを知ったり、昔遊びの体験、台所と居間や、米作りの再現展示などを通じて、いまとむかしのくらしを考えます。

「むかしの遊び体験コーナー」

けん玉・メンコ・カルタ・お手玉
などを体験できます



イベント

① こまつカルタで遊ぼう

2月15日(土) 10:30 ~ 13:30 ~
各回 30分程度 申込不要

② ペットボトルけん玉を作ろう+展示解説

2月22日(土) 9:30 ~ 12:00
持ち物: 500mmペットボトル3本、はさみ、
トイレットペーパーの芯2個

申込: 1月30日(木) ~ 2月13日(木)
定員: 15名 (申込多数の場合は抽選)

③ こまつの昔話: 状況次第で随時

料金: ②は無料 ①と③は入館料のみ

※ 小学校3年生以下の人は大人と一緒に参加してね



小松市立博物館

〒923-0903 石川県小松市丸の内公園町19
TEL: 0761-22-0714 FAX: 0761-21-7683
HP: <http://www.kcm.gr.jp>

特別企画展

ENJOY!日本画

～本陣コレクション所蔵東山魁夷作品一斉公開～

令和元年11月19日(火)―令和2年1月26日(日)

会場・主催

小松市立本陣記念美術館 Komatsu City
Honjin Memorial Art Museum

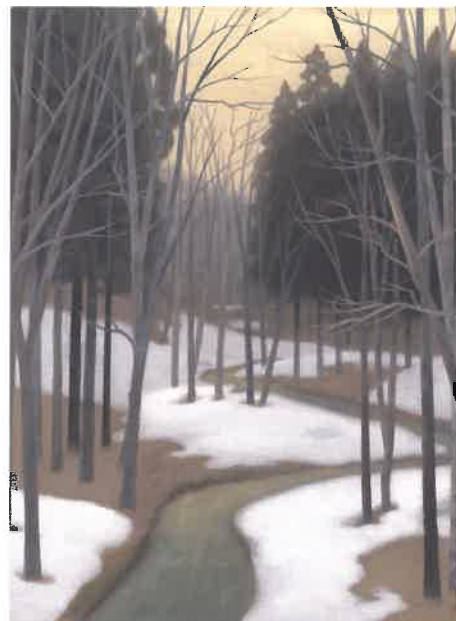
小松市丸の内公園町19番地 電話0761-22-3384

開館時間＝午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日＝月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日、12月29日～1月3日

入館料＝一般300円(20名以上の団体250円)、高校生以下無料

障がい者手帳持参者と同行者1人まで入館料免除/こまつミュージアムパス利用可



①

②



小松市立
本陣記念
美術館

特別企画展

ENJOY! 日本画

本陣コレクション所蔵
東山魁夷作品一斉公開

「日本画」とは何かを上手く説明し伝えることは容易ではありません。「日本画」という分野が曖昧な理由として、明治期に欧米から流入してきた絵画に対抗して、これまで日本で描かれてきた伝統的な絵画を総称する用語として急遽つくられたためです。明治、大正、昭和という動乱期に度々、「日本画」と言う分野そのものが存亡の危機にあるといわれました。

近現代の日本画家たちは、日本画とは何か自ら真摯に問いかけ、その生き残り、再生に向けて様々に努力してきました。

本展では彼らがこだわり、工夫し、そしてあみ出した新生日本画の特徴に目を向けてみました。画面から意表をつく表現や新鮮な印象を見つけ出し、日本画をエンjoyしてみませんか。



③



④



⑤



⑥

本展公開中に当館所蔵の東山魁夷作品を一斉公開します。また今回は「雑誌『日本』」(講談社刊)より東山魁夷作の表紙原画8点を特別公開します。

主な作品(掲載写真)

①「冬木立」	東山魁夷	日本画 1959年	小松市立本陣記念美術館蔵
②「猫二椿」	速水御舟	日本画 1915-1935年	小松市立本陣記念美術館蔵
③「高原の月」	東山魁夷	雑誌「日本」1958年10月号原画(紙本彩色)	(株)講談社蔵
④「雪景」	東山魁夷	雑誌「日本」1959年2月号原画(紙本彩色)	(株)講談社蔵
⑤「北国の牧場」	東山魁夷	雑誌「日本」1959年5月号原画(紙本彩色)	(株)講談社蔵
⑥「水郷」	東山魁夷	雑誌「日本」1959年10月号原画(紙本彩色)	(株)講談社蔵



小松市立
本陣記念
美術館

〒923-0903 石川県小松市丸の内公園町19番地 TEL.0761-22-3384
http://www.kcm.gr.jp/honjinkinen/

交通のご案内

- JR小松駅より徒歩15分
- JR小松駅より寺井方面行きバスに乗り、京町下車
- 小松空港よりJR小松駅行きバスに乗り、西町下車徒歩5分
- 駐車場: 乗用車の方は市役所前駐車場をご利用ください

関連イベント●ギャラリートーク

当館学芸員による解説会
11月30日(土)、12月14日(土)、1月25日(土) 午前11時～と午後2時～
予約不要。入館料でご参加いただけます。



画家は激動の時代をどうとらえたか・・・



《歓喜》1965年、当館蔵

MIYAMOTO Saburo

時代^{とき}を 映^{はな}す絵画

2020.1.4^土 ~ 3.8^日

開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで) [会期中無休]
入館料 一般 400 円、大学生 200 円 (宮本三郎ふるさと館と共通)
※団体 20 名以上で一般 300 円、大学生 150 円 ※高校生以下無料
※こまつミュージアム・バス対象施設
※障がい者手帳等お持ちの方と介護者 1 名は無料

小松市立



宮本三郎美術館

〒923-0904 石川県小松市小馬出町 5 番地
TEL : 0761-20-3600 / FAX : 0761-24-3374
Email : msm@city.komatsu.lg.jp

MIYAMOTO Saburo

時代を映す絵画

2020.1.4(土)～3.8(日)

日本が関東大震災、戦争、高度経済成長と大きく変化する時代を生きた洋画家・宮本三郎(1905～1974)。亡くなる前年、自らの画業について「私の五十年は時代という魔物の強圧に対応出来るような自分の中の気質の発見への模索にあったかと思う」と述べています。この言葉のとおり宮本は、激変する時代に合わせて自分の中の気質、画風を変えていきました。本展では、写真や民具など時代を伝える資料とともに、歴史的な出来事と、宮本の画業をたどります。時代を映しながら生みだされた様々な表現をお楽しみ下さい。



※一部写真、東京都提供

小松市立博物館とのコラボイベント

ペットボトル けん玉を作ろう

＋展示
解説

▶博物館の企画展
しらべてみよう!
むかしのくらし!

宮本三郎の子どものころの遊びを体験しよう!
当館と小松市立博物館の2館をみます。

日時: 2020.2/22(土) 9:30～12:00
定員: 15名(応募者多数の場合抽選)
申込期間: 2020.1/30(木)～2/13(木)
申込先・詳細: 博物館(0761)20-0714



宮本三郎は、昭和洋画壇を代表する画家のひとりです。小松市松崎町で生まれ、15歳の時に上京します。画家として精力的に作品を発表する一方で、新聞雑誌の挿絵や、戦時中は戦争記録画を制作しました。戦後は二紀会を創設し、日本美術家連盟理事長を務めるなど、洋画壇を牽引しました。

学芸員によるギャラリートーク※申込不要

日時: 2020.1/18(土)、2/15(土)、3/8(日)
いずれも 14:00～

同時開催 分館・宮本三郎ふるさと館の展覧会

2020.1.4(土)～3.8(日)

企画展

美の果实

～収集された宮本三郎～

開館時間/ 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日/ 月曜日(月曜祝日の場合はその翌日)、

祝日の翌日(土・日・祝日は除く)

入館料/ 一般400円、大学生200円(宮本三郎美術館と共通)

※団体20名以上で一般300円、大学生150円

※高校生以下無料 ※こまつミュージアム・パス対象施設

※障がい者手帳等お持ちの方と介護者1名は無料

次回予告 本館「至上の美を求めて～大京コレクション～」
分館「ふるさとに残る宮本三郎」

2020.3.20(金)祝～5.17(日)

小松市立



宮本三郎美術館

〒923-0904

石川県小松市小馬出町5番地

TEL: 0761-20-3600

FAX: 0761-24-3374

E-mail: msm@city.komatsu.lg.jp



企画展

美の果実

～収集された宮本三郎～



《横臥裸婦》制作年不詳／個人蔵

コレクター所蔵の作品を公開!!

2020.1.4(土) ~ 3.8(日)

小松市立
 宮本三郎ふるさと館

〒923-0982 石川県小松市松崎町 16-1 / 電話：0761-43-3032

開館時間：9：00～17：00(入館は16：30まで)

休館日：月曜日(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日(土・日、祝日は除く)

入館料：一般 400(300)円、大学生 200(150)円(宮本三郎美術館と共通)

※()内は団体 20 名以上の団体料金 ※高校生以下無料

※障がい者手帳等お持ちの方と介助者 1 名は無料

※こまつミュージアム・パス対象施設

美の果実

～収集された宮本三郎～



2



3



4



1

宮本三郎（1905-1974）は、小松市松崎町に生まれ15歳で故郷を離れ上京後、昭和画壇を代表する画家となり、その優れた描写力と色彩は今もなお人々を魅了しています。

本展は「美の果実～収集された宮本三郎～」と題して、小松市内外のコレクターの方々にご協力いただき、集められた宮本作品をご紹介します。

晩年に描かれた花の作品は号数に関わらず、画面いっぱいに描かれています。筆致や色使いからは花の生命力、描くことへの喜びをうかがうことができ、観る者を華やかな世界へと誘います。また、人物画を描く上で宮本は「親しみを感じさせる生活空間を描くことで、観者も又、画家と共にモデルに向い会っているという感情に誘うような、そういう画面を常に求め続ける」（『花と裸婦を描く』『三彩』1967年8月号）と語っています。人物の何気ないしぐさや、モデルの内面が見え隠れするような作風から、鑑賞者もモデルの魅力を感じとれるのではないのでしょうか。

風景や静物、人物デッサンなど普段は目にすることができないコレクター秘蔵の作品をこの機会にお楽しみ下さい。

1.《アネモネ》制作年不詳／個人蔵、2.《鯛》1947年／個人蔵、3.《姑娘》1937～38年／個人寄託品、4.《絵皿「女性像」》1960年／個人蔵

会期中のイベント

宮本三郎ふるさと館 TEL:0761-43-3032

親子凧作り教室

2020年2月1日（土）10:00～15:00

毎年人気の凧作り教室。

昼食にはお餅と豚汁が振る舞われます！

参加費：1,000円（凧一つにつき）

定員：小学生親子15組（抽選）※抽選結果は1月21日にご連絡します

集合：宮本三郎ふるさと館／会場：松崎町公民館

持ち物：画材（マジック・絵の具など）、ハサミ、飲み物

※汚れてもよい温かい服装・長靴でお越しください

申込期間：1月7日（火）～19日（日）※月曜日、祝日の翌日は休館日です

申込：宮本三郎ふるさと館



小松市立
宮本三郎ふるさと館

住所：〒923-0982
石川県小松市松崎町 16-1

[HPはこちら](#)



美術館でシャンソン

2020年3月1日（日）14:00～15:00

男性シャンソン歌手によるコンサートです。展覧会と併せてお楽しみください。

出演：（歌）山口まさと、（ピアノ）村井幸恵

参加費：無料／定員：50名（申込不要）／会場：宮本三郎ふるさと館

※駐車場に限りがあります。なるべく乗り合わせてお越しください。

次回予告 企画展「ふるさとに残る宮本三郎」 2020.3.20（金・祝）～5.17（日）
◎同時開催（宮本三郎美術館）：特別展「至上の美を求めて～大京コレクション～」

同時
開催

とき
時代を映す絵画

会場：宮本三郎美術館

会期：2020.1.4～3.8

かたのかもいけ しばやまがた
片野鴨池・柴山潟
やちょう かんさつかい
ふゆの野鳥観察会

いまだけの 冬のわたり鳥 をみにいこう
動物病院の先生のスペシャル解説つき！

令和2年 2月9日(日)

あさ9:00～ひる12:00

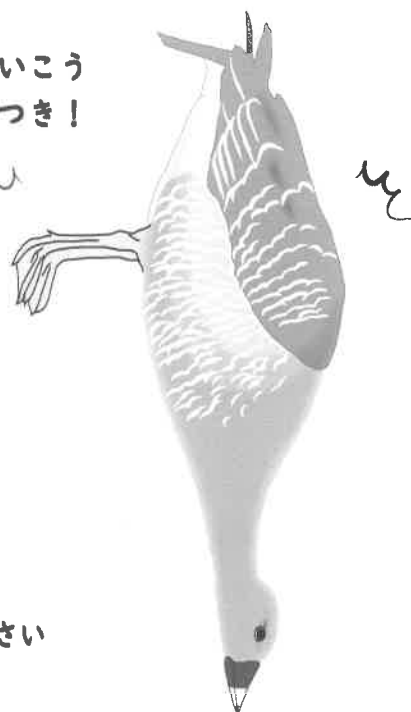
定員 20名(多数の場合抽選)

料金 大人のみ350円

受付 お電話にて(22-0714)

1/30 5時締めきり

☆ 詳しくはホームページを見て下さい



小松市立博物館 石川県小松市丸の内公園町19番地

\\「しらべてみよう！むかしのくらし」関連企画//

だま
ペットボトルけん玉
をつくろう+てんじかいせつ 展示解説

2020.2.22(土) 9:30～12:00

けん玉の
テクニックを伝授！

持ち物(1人分)

はさみ

500mmペットボトル3本

トイレットペーパーのしん2本

料 金：無料(保護者も)

集合場所：小松市立博物館1階



申込期間：1月30日(木)～2月13日(木)

9時～17時 ※月曜日を除く(休館)

博物館 0761-22-0714 へお電話ください

※小学3年生以下は保護者同伴※定員15名(申込多数の場合抽選)

小松市立博物館 〒923-0903 小松市丸の内公園町19
☎0761-22-0714

小松市サイエンスアドベンチャーについて

1. 開催日時・会場

【日時】令和元年12月 7日（土）13:00～16:20

【会場】サイエンスヒルズこまつ わくわくホール

2. 参加者

【小学生ものづくりコンテスト】 【湯浅・中山賞受賞者 発表会】

教育長 金沢大学 松原道男教授（アドバイザー）

小松市内の8小学校4～6年生、26チーム参加 74名

発表者2名（小学生2名） 教員、保護者

合計 約150名

3. 内容について

【小学生ものづくりコンテスト】

本年度の課題は、「遠くまで飛ぶ紙飛行機を作ろう」でした。1枚の専用用紙のみを使い、紙飛行機を製作し、飛距離と正確性を競いました。どのチームも互いに協力しながら、意欲的に紙飛行機の制作に取り組みました。

制作・試技（練習飛行）を何度も繰り返し、より遠くに、より正確に飛ぶように、試行錯誤する児童の様子がうかがえました。コンテストに向けて、自分たちで主体的に練習に取り組み、準備してきたチームがたくさんいました。また、多くの保護者が会場に足を運び声援を送っていました。一人ひとりの紙飛行機が飛距離を伸ばし、ラッキーゾーンに入るたびに、会場からは歓声があがりました。



【結果】

金賞：芦城小D 銀賞：能美小A 銅賞：芦城小A

努力賞(個人) 岩崎 未紅(安宅小A) 山本 笑子(蓮代寺小A) 山前 菜生(国府小D)

【湯浅・中山賞受賞者 発表会】

「小学生ものづくりコンテスト」後に、コンテスト参加児童も参加し、研究発表会を実施した。2人とも、写真や表などを盛り込み、大変わかりやすい発表を行った。2人の研究発表に対して、参加児童が積極的に質問をしたり感想を述べたりしていました。参加児童にとって大変有意義な研究発表会となりました。来年度以降も、今年度同様に、子どもたちが積極的に参加し、活躍できる研究発表会を継続していく予定である。

閉会式では、金沢大学 松原道男教授より、「身近な自然事象を題材に、経年的に研究することの大切さ」や「試行錯誤して工夫を繰り返すことの大切さ」等、講評および助言を頂きました。

湯浅・中山賞受賞者発表会 発表者名・研究名

①今江小学校 5年 木場 翠

「草から出る！ボンドのひみつ

～ハマヒルガオとコニシキソウの研究～」

②稚松小学校 6年 中村紗月

「すばらしかった金魚の聴覚と嗅覚ー学習能力はあるのかー」



図書館行事について

1月は、新年にちなんだ行事を本館、南部図書館で盛りだくさんに企画！

こまつ市民読書の日事業

- ☆ 絵本かるた 1月26日(南部/本館は11日開催)
絵本の表紙をかるたにして、内容を読んでもらい、その絵本の表紙をとっていくかるた。
年長児から小学生を対象に、55枚のかるたを用意。



本の福袋 1月4日からなくなるまで(南部図書館でも実施)

自分の好きなジャンル以外の本にも興味を持つきっかけになればと企画。今年で3回目。

図書館職員が選んだ本を2〜3冊、福袋に入れ、袋の表には、本の内容のテーマのみを表示して、貸し出した。

一般向け30袋、児童向け20袋、南部では、各15袋を用意。(写真参照)

1月4日に、「北陸朝日放送(株)」の取材を受け、ニュースで紹介された。



テーマ展示(〜1月31日)

- ☆ 今年の干支 ねずみ/お正月の絵本(写真左・中)

2020年の干支「子」にちなみ、ねずみや正月の本をズラリと並べた。ねずみクイズも有り。

- ☆ 薬膳とハーブ(写真右)

お正月の疲れや弱った身体を癒すための薬膳とハーブの本を集めた。



古文書講座 3月8・14・22日(全3回) 市史編纂担当

『古文書を読んでみよう』(3月8日)…武家・寺院・町方文書の他、近代史料を読み解く。

『地方文書を読む』(3月14日)・『武家文書を読む』(3月22日)…前回の応用編。読み解きばかりでなく、当時の町や村の様子も解説する。(別紙チラシ参照)

講師は、金沢市立玉川図書館(小松市史専門委員)の袖吉正樹氏をお招きする。

(第 91・92・93 回 市史講座)



文書講座

講師：袖吉 正樹氏

(金沢市立玉川図書館・小松市史専門委員)

時 間：午後 2 時～ 4 時

会 場：小松市公会堂 1 階 第 1・2 会議室

受講料：無料

受 付：事前予約が必要 (0761-24-5315)

当日参加も可能

3 月 8 日(日)	14 時～	「古文書を読んでみよう」 武家(藩主)・寺院・町方(海運)の他, 近代も含めた様々な古文書を読む
3 月 14 日(土)	14 時～	「地方文書を読む」 能州郡奉行を勤めた神保家文書から当時の村の様子を見る
3 月 22 日(日)	14 時～	「武家文書を読む」 割場付留書役を勤めた新保家文書を中心に武家文書を読んで見る

★「割場」とは？

加賀藩の行政組織の一つで、諸々の雑務(警備・掃除・藩主のお供など)を足輕に割り当てる役所

★「割場付留書」とは？

割場に関わる各種の書類を作成、整理、保存する役

令和 2 年度広域通学者の決定について

- 広域通学は、市内在住の児童・生徒が通学区域にかかわらず通学できる制度
松東みどり学園（小学部）と松東中学校を指定し実施している
- 両校の教育方針に賛同し、学習に積極的に参加できる児童・生徒を募集
面談を経て、下記のとおり令和 2 年度の広域通学生を決定

【通学者決定までの日程】

	松東みどり学園	松東中学校
1. 学校説明会	令和元年 11 月 25 日（月）	令和元年 12 月 3 日（火）
2. 面談会	—	令和元年 12 月 21 日（土）
3. 結果通知	令和元年 12 月 24 日（火）	
4. 通学期間	令和 2 年 4 月から 1 年間（継続可）	

【広域通学者の人数（各年度 5 月 1 日現在）】 (人)

	松東みどり学園（小学部）※		松東中学校	
	広域／全校数	新規	広域／全校数	新規
H27	20／31	3	16／95	4
H28	20／32	4	16／95	8
H29	20／33	6	16／82	6
H30	13／129	2	13／80	4
R1	13／118	3	9／72	2
R2 予定	12／114	0	7／77	2

※H29 年度までは西尾小学校の数値

寄附受納について

株式会社小松製作所より、PGAシニアツアー「コマツオープン 2019」収益金の一部を小松市に寄附いただきました。

内容は下記のとおりです。

記

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 受 納 日 | 令和元年12月27日（金） |
| 2. 寄 附 物 件 | 現金 690,545円 |
| 3. 寄 附 の 目 的 | 科学教育の推進のため |

■主なイベントから

12月14日(土) 11:00～16:00 参加 1,500人 わくわくホール	サイエンスフェスタ2019 企業等3、県工業組合3、大学3、高等学校2、市内教員1の協力をいただいて科学・ものづくりブースの他、環境関連のグラフからアート作品をつくるSDGs関連のブースも並び、盛況であった。高大学生の学習発表の場、大学の研究の披露の場にもなっている。	
	 	
12月22日(日) 15:00～16:30 参加 100人 3Dスタジオ	プロフェッショナルトーク 「オーロラ研究最前線 神秘のヴェールの謎を解け」 金沢大学 尾崎光紀准教授 『オーロラ 生命の輝き』上映 南極越冬隊員としての経験から、南極での実験、生活の様子も交えながらオーロラの原理、惑星のオーロラ、先生自身の研究のコーラス波動等について子どもにもわかりやすいご講演をいただいた。	
12月24日(火) 15:00～ 17:00～ 参加 127人 3Dスタジオ	Xmasコンサート「星降るクリスマス2019」 小松市立高等学校 吹奏楽部・芸術コース 吹奏楽部の生徒による小編成のクリスマスソングとクリスマスに因んだ天文解説のコラボレーション。最後は音楽コースも加わり聖夜を偲ぶ合唱。今年で3回目となりファンも増えている。	

■その他

12月中 2校150人 わくわくホール	プログラミング教室(授業として) 市内小学4年生の必須授業に加え、今年は新たにペッパーを使ったプログラミングに6年生が挑戦した。(希望校)	
12月26日(木) 13:30～ 18人	ミクロの世界へ探検だ！ムラタセイサク君の実演 小松村田製作所 ワンダーランド展示企業として年間4回ご協力いただいている。	
①12月20、21日26人 ②12月5日10人 ③12月13日7人	こまつ市民大学 ①星空から始める天文学教室(全5回) ③2020年注目の天体ショー ②大人のためのものづくり(全5回) ⑤ステンドグラスのツリー完成 ③大人のためのサイエンスサロン(全11回) ④使い捨てカイロの科学 市民大学への全7講座のうち、12月中は3講座を開催。	
12月7日 13:25～16:00 150人 わくわくホール	いろいろな大根(全国の大根)展示 1年を通じて野菜の花を鉢植えで提供いただいている寺岸先生から、自ら畑で育てた33種類の大根とカブを提供いただいた。現物と同時にいただいた鉢植えは花壇前で育成中。展示の大根は希望の来館者に配布した。	